

第3節 漁業

三番瀬とその周辺海域は、多くの魚類や貝類等の産卵、生育の場として、東京湾全域の漁業にとって重要な役割を果たしています。

そして、三番瀬における漁業は、首都圏をはじめとする消費者に新鮮な水産物を供給するとともに、地場産業として地域の経済と社会に大きな役割を果たしています。

しかし、その漁場環境は、埋立てに伴う海域の減少等により大きく変わり、多くの漁業資源が消滅、減少し、多くの漁法も消えていきました。基幹漁業であるノリ養殖業やアサリ漁業も不安定な生産を強いられ、漁業後継者不足に関しても課題となっています。

このことから、多様な水生生物が安定して生息する生態系バランスのとれたかつての豊かな漁場の再生を図り、安定した生産と収入が得られ、若年層が将来に希望を持って漁業を引き継ぐことができるようにすることが重要です。

そのため、漁場環境の改善、安定したノリ養殖業やアサリ漁業に向けた研究の推進、漁業基盤の整備等を進め漁業の振興を目指します。



(アサリ漁の様子)



(ノリ養殖風景)

三番瀬(漁業地区:船橋、行徳、南行徳、浦安)の主要漁獲対象種の生産量の推移
(昭和35年～平成14年、資料:農林水産統計年報(属人統計))

